

## 研修【シラバス】

福祉研修センター

1 研修事業名	平成 30 年度 相談技術研修（応用編）—生きるちからを取り戻す相談支援の実践—
2 事業目的・ねらい	<p>相談援助職は、支援を求めている人に対して、面接という方法を用いて関わっていきます。相談場面においては、面接技術を意図的に活用することで利用者との効果的な関わりが持て、ひとの理解や信頼関係の構築につながります。</p> <p>しかし、相談者の中には必ずしも明確なニーズを持っているひとばかりではなく、何らかの生きにくさを抱え、自らの課題に取り組む意欲が低下しているひともあります。</p> <p>本研修では、生活課題に取り組む意欲が低下しているひとへの面接技術や生きにくさの構造を理解するとともに、関わりが難しい利用者へ援助者としてどう関わっていけるのかを学ぶことで、相談支援の実践力向上を目的に開催します。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃の面接場面における自身の姿勢について振り返り、面接の目的を再確認する。</li> <li>・ 生きづらさやそれを抱えるひとのこころの構造を理解する。</li> <li>・ 取り組む意欲が低下しているひとに対する面接技術を習得する。</li> <li>・ 相談援助職として相談者との向き合い方を再確認する。</li> </ul>
4 対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内社会福祉施設（高齢、障害、保育、児童、その他）において相談業務を担う方</li> <li>・ 上記の方で、相談業務におおむね 1～3 年程度の経験がある方（定員 40 名）</li> </ul>
5 科目名	1 と同じ
6 講義担当者名	福山 和女氏（ルーテル学院大学名誉教授）
7 講義の日程	3 月 18 日（月） 10 時 00 分～16 時 00 分
8 時間数	5 時間
9 講義の方法	講義・演習
10 科目のねらい	2 と同じ
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接の目的</li> <li>・ 相談者が抱える生きづらさの構造を理解する</li> <li>・ 面接技術の活用（相談者の意欲を引き出す面接トレーニング）</li> <li>・ 相談援助職として、ひとの生きる取り組みをどう支えるか</li> </ul>
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 使用教機材	パソコン、プロジェクター